

研究会のあゆみ (2002年3月20日～2003年2月24日)

第57回：02年3月20日(月)

安達信裕「1900年前後の台湾における『国語』による同化について」

第58回：02年4月15日(月)

池映任「韓国『国立墓地』における公式儀礼について」

第59回：02年5月13日(月)

谷本景子「在日朝鮮人教育における日本籍朝鮮人

—日本籍朝鮮人に関する考察—

荒木晴香「泡瀬干潟の埋立事業に関する調査」

第60回：02年5月27日(月)

越智郁乃「『死』の認識—現代沖縄における死者儀礼の人類学的研究」

第61回：02年6月24日(月)

福原裕二「北朝鮮の経済建設路線における貿易の位置」

池映任「韓国国立墓地における創られた伝統」

第62回：02年7月22日(月)

中村八重「韓国における脳死・臓器移植と人類学的課題」

第63回：02年8月19日(月)

李政樹「植民地朝鮮における日本語教育の実態把握に関する調査

—1930年代～40年代を中心に(聞き取り調査の予備段階として)」

岡田菜穂子「手織り布生産とアイデンティティ

—ベンガルのジャムダニを中心として—

第64回：02年9月16日(月)

近藤高史「パキスタンにおける『民族問題』の変容

—スィンド州のムハーヅル問題を中心として—

第65回：02年11月4日(月)

藤木美帆「エコツーリズムの人類学的研究—屋久島を事例として—」

小野耕平「現代中国における対チベット政策とその理念」

池映任「『英霊』の言葉に見る国家祭祀の原理」

第 66 回：02 年 12 月 2 日（月）

安達信裕「統治開始期の台湾における同化教育—国語教育を中心に—」

近藤高史「パキスタンの民族問題に関する一考察

—スィンド州のムハーヅル運動を事例として—」

第 67 回：02 年 12 月 16 日（月）

新本万里子「物質文化の歴史的変容

—パプアニューギニア、ニヤミクムの網バックの事例から—」

越智郁乃「『移動』と『家長交代』による死者儀礼の変化

—効果的な比較考察を目指して—」

第 68 回：03 年 1 月 13 日（月）

福原裕二「平壤宣言以後の北朝鮮」

池映任「韓国国立墓地に関する人類学的研究」

第 69 回：03 年 2 月 3 日（月）

荒木晴香「泡瀬のアイデンティティと復興期成会」

オンドロナ「鳥居龍蔵のモンゴル観に関する研究」

第 70 回：03 年 2 月 24 日（月）

福原裕二「盧武鉉当選と韓国の民族主義現況（概説）」

越智郁乃「墓の行方—現代沖縄のある一家と墓・仏壇」

本研究会は、社会科学研究科並びに国際協力研究科のアジア地域を研究対象としている大学院生及び研究生によって企画・運営されています。研究会での議論の成果の一部がこの論文集となっています。